

番号	No.	団体名	地縁団体 松ヶ岡開墾場
----	-----	-----	-------------

活動地 鶴岡市羽黒町松ヶ岡地内

団体紹介

松ヶ岡開墾場は、明治の初めに旧庄内藩士たちが開墾した土地で、開墾当初は一面の桑園でした。現在は水田や庄内柿・桃の栽培などの農業を営みながら、日本遺産でもあり国指定史跡でもある地域内の松や桜並木の保全に努め、開墾場内の森林・里山を守り、森林の大切さを伝える活動を行っている構成員 53 戸の地域組織です。

活動内容

- 開催日：令和2年4月7日（火）、桜幼木の雪囲いはずし。2人
- 開催日：令和2年5月31日（日）、7月5日（日）、8月2日（日）、9月20日（日） 塚山周辺・ミズバショウ群生地周辺・地内山林の下草刈り。延 79人
- 開催日：令和2年8月2日（日） 午前9時から、ミズバショウ群生地の木道に滑り止めの木材張り作業を行った。雨に濡れたりすると足もとが滑りやすく、転倒防止のために設置した。終了後、「里山林保全学習」として、松ヶ岡開墾場の構成員である匹田久雄氏から「ミズバショウとカスミ桜の保安全管理について」と題して講話をいただいた。ミズバショウもカスミ桜も開墾場地内にあり、その来歴と保全について大変参考になる話が聞けた。延 23人
- 開催予定：11月に桜幼木の雪囲い、竹伐採、ミズバショウ群生地周辺の草刈り整備。12月に、国の史跡指定地内の松枯れ防止薬剤樹幹注入。3年計画の、今年は3年目。



活動を行っての感想

- 今年はコロナ禍で、子ども会の自然教室など当初の計画を中止したのものもあった。
- 里山林保全活動は計画どおり実施しており、せっかくの機会ということで講話も実現した。
- 今後とも、実際の里山林の管理・保全活動、自然学習の継続などを通じて、里山の地域を守る活動を集落全体への意識付けも含めて、継続しておこなっていきたい。